

ICU看護パーフェクト

Perfect book of
Intensive Care
Nursing



ひつじ看護
BOOKS

CONTENTS

序	清水敬樹
略語一覧	11

第1章 ICU看護師ならではの業務

1 ICU 看護師の勤務形態	安藤光威	16
2 ICU 看護師の1日の流れ	浅沼澄子	18
3 ICU 看護師の朝カンファレンス	吉田順子	20
4 一般病棟への申し送り	橋本洋一	22
5 手術室からの申し送り	山崎恵美子	24
6 救急病棟への申し送り	吉田順子	26
7 急変時の申し送り—受ける側	浅沼澄子	28
8 手術室への申し送り	山崎恵美子	30
9 医師不在時のホットライン対応	大川直美	32
10 ICU での清拭の特徴	鈴木美恵子、濱谷寿子	34
11 ICU 看護師としての災害出動	池田稔子	36
12 いまどきのICU 看護師	高藤あゆみ	38
13 ICU での看護学生実習	池田稔子	40
14 ICU 看護師の育成方法	安藤光威	42
15 ICU 看護師としての学会発表	古厩智美	44
16 ICU 看護師としての論文作成	古厩智美	46

第2章 疾患別重症患者管理の看護

I：周術期管理

1	食道癌周術期管理	小島直樹	48
2	定時手術抜管困難患者の管理	阿部博昭	50
3	肺切除後の管理	吉池昭一	52
4	陰圧閉鎖療法患者の管理	石井義剛	54
5	オープンアブドミナルマネージメント	重光胤明	56
6	再手術患者の術前管理	佐藤 晃	58
7	持続静脈内鎮痛と持続硬膜外鎮痛の管理	阿部博昭	60

II：外傷管理

8	頸髄損傷患者の管理	石井桂輔	62
9	肝損傷患者の管理	田口博一	64
10	重症頭部外傷患者の管理	田中幸太郎	66
11	熱傷患者の管理	田口茂正	68
12	脾損傷患者の管理	小島直樹	70
13	外傷性胸部大動脈損傷の管理	早瀬直樹	72

III：内因性疾患

14	誤嚥性肺炎の管理	高橋 希	74
15	DKA（糖尿病性ケトアシドーシス）の管理	小山知秀	76
16	心拍再開後の管理	田中幸太郎	78
17	破傷風患者の管理	高田勇登	80
18	敗血症性ショック患者の管理	広海 亮	82
19	痙攣患者の管理	野間未知多	84
20	脳低温療法患者の管理	清水敬樹	86
21	急性膵炎患者の持続動注療法	佐藤啓太	88

IV：その他

22	終末期医療患者の管理	佐藤 晃	90
----	------------	------	----

23	小児患者の管理	田中 登	92
24	ACS（腹部コンパートメント症候群）患者の管理	田口博一	94
25	希死念慮が高い患者の管理	佐藤啓太	96
26	NIHSS スコアリングと rt-PA 患者の管理	鈴木一郎	98

第3章 ICU装置

1	IABP（大動脈内バルーンパンピング）管理	土井信一郎	100
2	IABO（大動脈閉塞バルーンカテーテル）管理	早川 桂	102
3	CHDF（持続血液濾過透析）管理	高橋 希	104
4	ME（臨床工学技士）との連携	森川真吾	106
5	ICUでのHD（血液透析）管理	山下幸一、西山友貴	108
6	高頻度陽圧換気の管理	新福玄二	110
7	ECMO（体外膜型人工肺）管理	早川 桂	112
8	awake ECMOの管理	佐藤啓太	114

第4章 ICU看護師に必要な知識

1	看護師に必要な画像の理解—胸部X線	鈴木路可、早川 桂	116
2	看護師に必要な画像の理解—頭部CT	鈴木一郎	118
3	看護師に必要な画像の理解—カテーテル・チューブの位置	佐藤 晃	120
4	モニター心電図の見方	野間玄督、東 幸仁	122
5	脳死判定での看護師としての対応	田中幸太郎	124
6	臓器提供における看護師としての対応	田中幸太郎	126
7	エホバの証人、家族への対応	齋藤勇一郎	128
8	CVP・IVC・ScvO ₂ の測定	佐藤啓太	130
9	各病態ごとの血圧管理の目標設定	藤井達也、西山友貴	132
10	鎮静薬に関して	五本木雅彦	134
11	輸血の期限に関して	小山洋史	136
12	RASS（病態ごとの設定値、使用薬剤など）に関して	新福玄二	138

13	血中濃度—バンコマイシン、アレビアチンに関して	小田智三	140
14	ICU で検出される多剤耐性菌への対策	田口茂正	142
15	皮疹の見方・考え方	小田智三	144
16	薬剤投与時の注意	土井信一郎	146
17	喀痰検査	福地貴彦	148

第5章 介助

1	ドレッシングの方法	石井義剛、清水敬樹	150
2	クリームおよび軟膏の種類と違い	石井義剛、清水敬樹	152
3	皮膚消毒薬の種類	高橋 希	154
4	気管切開—術中・術後管理	重光胤明	156
5	縫合時の針・糸の選択	清水朋一	158
6	覆布—穴なし、穴ありの使い分け	早瀬直樹	160
7	吸引管、開創器の種類	岩崎恭子	162
8	下痢の対応と肛門留置チューブの管理	早川 桂	164
9	ハイドロファイバーの使用法と管理	石井義剛、清水敬樹	166
10	中心静脈と動脈ライン確保時の介助	野間未知多	168

第6章 看護技術

1	口腔ケアに関して	大澤博樹	170
2	経鼻サクシヨンの禁忌と対策	門 輝	172
3	カフ圧測定	広海 亮	174
4	抑制帯の種類と使用方法および注意点	門 輝	176
5	体位	野間未知多	178
6	聴診の奥義	鈴木路可、早川 桂	180
7	血液培養採取の方法	関 藍、高橋 希	182
8	昇圧薬交換時の注意事項	飯塚悠祐	184
9	スタンダードプリコーション	関 藍	186

10	シーネ、外固定の管理	藤原 靖	188
11	ベッドサイドでの音楽の効用	齋藤勇一郎	190
12	MRI撮影へ行く際の注意事項	松本紘毅	192
13	皮膚真菌症の見方	高橋 希	194
14	優先度（緊急度）および重症度の判断	早瀬直樹	196
15	薬剤の配合禁忌と輸液ラインでの注意事項	松本紘毅	198
16	ベッド間移動とベッド移動（搬送）時の注意事項	田中 登	200

第7章 ICUにおける看護業務

I：呼吸管理

1	NPPV患者の管理	伊藤宏保	202
2	PE（肺血栓塞栓症）予防の看護	藤井達也、西山友貴	204
3	人工呼吸器に関して	伊藤宏保	206
4	肺理学療法への関与	広海 亮	208
5	酸素飽和度の見方	尾中寛恵	210
6	酸素マスクの種類	飯塚悠祐	212
7	呼吸数の重要性（最も身近なバイタル）	鈴木路可、早川 桂	214
8	抜管時、抜管後の対応・注意	新福玄二	216
9	分離肺換気の管理	阿部博昭	218
10	挿管チューブ固定・管理	飯塚悠祐	220

II：ドレーン・外固定管理

11	直達牽引の管理	石井桂輔	222
12	ドレーン管理①胸腔	堀 耕太	224
13	ドレーン管理②腹腔	小島直樹	226
14	ドレーン管理③脳室・ICP	鈴木一郎	228
15	移動時のライン整理の要点	秋山光浩	230
16	創外固定の管理	石井桂輔	232

Ⅲ：その他

17	プリセップCVオキシメトリーカテーテルの管理	早川 桂	234
18	疼痛を訴える患者の管理	尾中寛恵	236
19	ICUでの血糖コントロール	高田勇登	238
20	体温管理（測定部位や管理）	五本木雅彦	240
21	中心静脈カテーテル感染への対応	田口茂正	242

第8章 医師との連携

1	内視鏡検査中の介助	水口靖文	244
2	ICUでの略語	清水敬樹	246
3	医師とのコミュニケーション	清水敬樹	248
4	脊髄くも膜下麻酔の介助	齋藤勇一郎	250
5	気管支鏡検査時の介助	高橋 希	252
6	エコー施行時の医師のマナーへの指導、対応	土井信一郎	254
7	そのサインに気づけるか、十人十色のドクターコール	佐藤啓太	256
8	指示書、その心は	高橋 希	258
9	挿管介助時のたちふるまい、注意	菅野敬之	260
10	医師のカンファレンスへの参加ーリーダーとして	大川直美	262

第9章 他職種との連携

1	NST回診を含めた栄養管理	水口靖文	264
2	褥瘡管理、回診への参加	早川 桂	266
3	リハビリカンファレンスへの参加	藤原 靖	268
4	臨床検査技師との連携	高藤あゆみ	270
5	放射線技師との連携	鈴木美恵子	272
6	ICUでの薬剤師との連携	橋本洋一	274
7	ストーマ管理	小山知秀	276

第10章 ICU外における対応

1	他施設への転送（ヘリ搬送での注意）	吉池昭一	278
2	満床時の対応	清水敬樹	280
3	災害時のICUの対応	田口茂正	282
4	ベッドコントロール	森川真吾	284
5	臓器移植の概念と看護師の役割	清水朋一	286
6	病態、方針の共通理解、認識	関 藍	288
7	インフルエンザ患者への対応	福地貴彦	290

第11章 医療安全

1	家族への接遇	門 輝	292
2	針刺し事故の対応、予防	福地貴彦	294
3	ICU患者急変時の対応	野間未知多	296
4	インシデント発生時の対応	野間玄督、東 幸仁	298
5	暴力・セクハラ患者への対応	野間未知多	300
6	暴力に対するマニュアルの整備—上司への報告から警察出動まで	佐藤啓太	302
7	事故抜管と自己抜管	五本木雅彦	304
8	似た名前の薬剤、ダブルチェック	瀧本洋一	306
9	輸血の副作用	清水敬樹	308
10	造影CT時のアナフィラキシーへの対応	菅野敬之	310
11	DNAR	森川真吾	312
12	患者と会話できないことへの看護師としての心境	岩崎恭子	314
13	ベッド移動、体位交換でのスタッフの腰痛	伊藤宏保	316
付 録			318
索 引			320

各項「ケアの心得」（執筆順）

古厩智美、大川直美、吉田順子、高藤あゆみ、大澤博樹、浅沼澄子、吉倉有希乃